

JACET Kansai Newsletter

No. 70 November 1, 2014

一般社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 野口 ジュディー (武庫川女子大学) (Chapter President: Judy Noguchi, Mukogawa Women's University)

事務局: 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1 近畿大学 理工学部 11 号館 照井雅子研究室内

(Chapter Office: c/o Masako Terui, Faculty of Science and Engineering, Kinki University)

E-mail: jacetkansaichapter@gmail.com URL: <http://www.jacet-kansai.org/>

「日々雑感」

研究企画委員会 委員長 加藤雅之 (神戸大学)

たとえばマララ・ユスフザイさん。“I had really two options. One was not to speak and wait to be killed. And the second one was to speak up and then be killed. And I chose the second one because at that time there was terrorism, women were not allowed to go outside of their houses, girls' education was totally banned, and people were killed.”こういう文章を読むと、英語というリンガ・フランカが事情はどうであれともかく出来たことを寿ぐとともに、エンパワーメントとしての英語の役割を実感する。英語を学ぶこと、使うことによって、自らの地位や境遇を改善することになる学習者は(すくなくとも私のクラスでは)多くはないが、経済的に恵まれない無数のマララが日に夜をついで、勉学に励んでいる姿を想像する。

さて Kindle。以前からアプリとしては持っていたのだが、ほとんど利用していなかった。しかし、先日電子書籍リーダーの Kindle Paperwhite を購入したところ、これが、いい。画面が大きくて、目に優しい白地のちょうどいい輝度であることや、辞書のポップアップ機能があることもさることながら、ハイライトやメモがアプリ版より格段に使いやすく、これなら使えると思った。同じ本を読んでいる人がハイライトした部分が見えるのも面白い。(ここで笑うのかという壺がわかる録音された笑いのようだ。) WPM を自動的に測ってくれるのか、「本を読み終えるまで○時間○分」と出るのもおせっかいだけど嬉しい。あとひとつ、たくさん漫画がでていて、昔のなつかしいやつが、二、三百円台で買えるのもいい(というかこれが一番いいかも)。しかし、ここには数千冊は入るらしいけれど、「あと千回の晩飯」じゃないけれど、あと「何冊の本」が読めるのだろうか?

なぜか Man Booker 賞。今年は Richard Flanagan の *The Narrow Road to the Deep North* に。なぜか思い立つて、ショートリストの 6 冊を集めてみたが、とても全部読んでいる時間がなかったのでせめてひとつだけでもと(表紙に誘われて) Ali Smith の *How to be both* を読んでみたら、これがメタフィクション(いまでも

このジャンル名で読んでいいのかしらん?)というか、わけがわからなかった。『奥の細道』は題名的にはだめだろうと思っていたらびっくりの授賞。秋季大会が無事終わったら、読んでみようかな。

ところで「二項対立を越えて」。という題名で本稿を書こうとして、挫折してしまった、その書き出し: 『おそらく、ことのありようは、それかこれかではなく、それとこれの間にあるのではなかろうか。かつての平泉・渡部論争を持ちだすまでもなく、実用英語対教養英語という図式は時代に合わせてその変数を入れ替えながら、TOEIC、習熟度別クラス編成、グローバル人材育成事業、早期英語教育、英語による授業などのディスコースとなり、わたしたちの日々の授業の前を後ろを流れしていく。そうした是か非かという議論に掉さずのも一興かもしれないが、私などは少し疲れてしまい、どちらのキャンプに属するのでもなく、自分なりの立ち位置を確保できればいいやという思いにとらわれてしまう。』この出だしはだめだめバタン。いいたいことが大きすぎて、文書がついていっていない。ヒントは身近なところに Only Connect。あれかこれか、ではなく、あれもこれも。(How to be both)

村上春樹がとるのであれば、むしろ Kazuo Ishiguro がふさわしいと思う。モディアノの小説は今ひっそりと Kindle の中で目覚めを待っている(これは『奥の細道』のあとということで)。

忘れていけない秋季大会。なんと JACET 史上初めての重要文化財の中で開催されます。

「本館」「北齋(ほっこう)」「南齋(なんこう)」「渡り廊下」「門扉」「旧守衛所」は 1879(明治 12)年に建築されたもので、1964 年に国の重要文化財に指定されました。これらの建物が残る大宮キャンパスは「重要文化財建築群」を形成しており、また、隣接する西本願寺全体は UNESCO の「世界文化遺産」にも指定されています。(龍谷大学校友会のサイトより)

とくに、開会式やシンポジウムなどの行事会場の「講堂」は厳肅といおうか莊厳といおうか「厳」の入った熟語で表わすしかない伝統の重みに満ちています。土

足厳禁ですので、(こちらでも簡易スリッパは用意いたしますが)念のため暖かい上履き等をご持参ください。企画委員一同みなさまのお越しを心よりお待ち申し上げております。

■2014年度第2回支部講演会の報告■

JACET 関西支部 2014 年度第 2 回講演会（海外の外国語教育研究会企画）が、2014 年 10 月 18 日（土）に同志社大学今出川キャンパスで開催されました。

司会：小山 敏子先生（大阪大谷大学）

テーマ：「国際的にみた外国語教員の養成—日本の外国語教育を考えるために—（シンポジウム）」

講師：

1. 大谷 泰照先生（大阪大学名誉教授）
2. 二五 義博先生（海上保安大学校）
3. 橋内 武先生（桃山学院大学名誉教授）
4. 植松 茂男先生（京都産業大学）

講演には 32 名の参加があり、質疑応答・討論では短い時間ながらも、講師の先生方と参会者との活発な議論が展開されました。多くの皆様のご参加、誠にありがとうございました。

The second Lecture Meeting of the 2014 academic year was held on October 18th at Doshisha University Imadegawa Campus, with 32 participants. After the stimulating presentations, there was an active discussion among the speakers and the participants.

Chair: Toshiko Koyama (Osaka Ohtani University)
Speakers:

1. Prof. Emeritus OTANI Yasuteru, Osaka University
2. Prof. NIGO Yoshihiro, Japan Coast Guard Academy
3. Prof. Emeritus HASHIUCHI Takeshi, Momoyama Gakuin University
4. Prof. UEMATSU Shigeo, Kyoto Sangyo University

■2014年度関西支部秋季大会のお知らせ■

2014年度関西支部秋季大会は、11月29日（土）に龍谷大学大宮学舎にて開催されます会員の研究発表に加えて、招待講演、企画ワークショップ、特別企画も予定しております。是非とも奮ってご参加ください。

◆ 企画ワークショップ

「Praatによる音声分析入門：音声を「見て」みよう」

講師：山本 勝巳（流通科学大学）

◆ シンポジウム（1）

「授業外施設・プログラムを用いた大学英語教育改革」

講師：北爪 佐知子（近畿大学）

講師：安田 有紀子（神戸学院大学）

講師：ジョーンズ・ブレント（甲南大学）

◆ シンポジウム（2）

「英語リスニング研究最前線」

講師：門田 修平（関西学院大学）

講師：佐久間 康之（福島大学）

講師：菅井 康祐（近畿大学）

講師：濱本 陽子（関西大学）

秋季大会の詳細やプログラムにつきましては、JACET 関西支部ホームページ (<http://www.jacet-kansai.org/>) をご覧ください。

The 2014 Fall Conference of the JACET Kansai Chapter will be held on Saturday, November 29th at Ryukoku University, Omiya Campus. The features are presentations, workshops and symposia on various areas of English education.

- Workshop

“Introduction to Praat”

Lecturer: YAMAMOTO Katsumi (University of Marketing and Distribution Sciences)

- Symposium (1)

“University English Education Reform:

Extracurricular Programs and Facilities”

Lecturer: KITAZUME Sachiko (Kinki University)

Lecturer: YASUDA Yukiko (Kobe Gakuin University)

Lecturer: JONES Brent A. (Konan University)

- Symposium (2)

“Research on Listening Today”

Lecturer: KADOTA Shuhei (Kwansei Gakuin University)

Lecturer: SAKUMA Yasuyuki (Fukushima University)

Lecturer: SUGAI Kosuke (Kinki University)

Lecturer: HAMAMOTO Yoko (Kansai University)

Refer to details at the JACET Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org/>). Come and share your work with the JACET community!

＜秋季大会懇親会 事前申込のお願い＞

◆◆◆今回から、懇親会参加費は郵便振替ではなく、事前申込みの上、当日支払いとなりました◆◆◆

日時時間：11月29日（土） 17:40-19:30
場所： 龍谷大学 大宮学舎 清和館3Fホール

Conference party: Nov. 29, Saturday, 17:40-19:30
Venue: Seiwanan 3F Hall, Omiya Campus, Ryukoku University

懇親会の事前申込を御希望の方は、

1) 氏名 2) 所属

を明記のうえ、件名を「JACET関西支部懇親会事前申込」とし、必ず下記メールアドレスまでお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

（締切 11月16日（日））

申込先：hsatoy@rins.ryukoku.ac.jp

懇親会費：4,000円

大会当日に受付でお支払いいただきます。
当日申込の場合は、懇親会費が6,000円となりますので、ご注意ください。

Reception Reservation

Reserve a place by sending an email message entitled [JACET Kansai Conference Party Reservation] with your name and affiliation to hsatoy@rins.ryukoku.ac.jp by November 16. Pay the 4,000 yen fee on site. Payment at the door without reservation: 6,000 yen. Looking forward to seeing you all there.

■今後の JACET 関西支部開催講演会 ■

JACET 関西支部では、年度内に次の講演会を予定しております。

第3回：2015年3月7日（土）

教材開発研究会企画シンポジウム

場所：関西学院大学大阪梅田キャンパス

[\(http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/access/\)](http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/access/)

※参加費：JACET 会員は無料。非会員は 500 円。

事前申し込みの必要はございません。

要旨などの詳細は、開催が近づきましたら、支部 HP に掲載いたしますのでご覧ください。

JACET Kansai Chapter will hold the third Lecture Meeting of this academic year as follows:

- 3rd Lecture Meeting by the Study Group for Material Design and Development on March 7th, 2015, at Kwansei Gakuin University, Osaka Umeda Campus.

(http://www.kwansei.ac.jp/english/pr/pr_003186.html)

Refer to details at the JACET Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>).

Fee: JACET member, free; nonmember, ¥500. No need to pre-register.

■JACET本部からのお知らせ ■

JACET 主催 平成 26（2014）年度
第2回 JACET 英語教育セミナー
——小中高大連携の現状と課題——

日時：2014年12月6日（土）10時～18時

場所：愛知大学（名古屋校舎）講義棟8階
名古屋市中村区平池町4丁目60番6

（JR名古屋駅徒歩12分／あおなみ線さしまライブ駅徒歩1分／近鉄名古屋線米野駅徒歩5分）

内容：

講演基調講演

「教育における縦と横の連携—英語教育の連携を中心に—」

岡田伸夫（関西外国語大学教授）

講座I

「英語資格(検定)試験を活かす」

英検/ TOEIC/ Benesse

講座II

「学習英語辞典を活かす：エラーから見る高頻度語義バイアスと文脈の収束性」

磐崎弘貞（筑波大学教授）

講座III

「出版社教材を活かす」

賛助会員出版社のプレゼンテーション

パネルディスカッション

「小中高大連携を基盤にしたグローバル人材育成に寄与する大学英語教育の展望」

Panelist：

山下敦子（岐阜市立鶴小学校教頭）

熊谷紀孝（愛知県立田口高等学校教諭）

太田光春（文部科学省視学官）

宮浦国江（愛知県立大学教授・教養教育センター長）

Moderator :

大森裕實（愛知県立大学教授・JACET 理事）

その他

賛助会員によるワークショップおよび教材展示

プログラム詳細と申し込み：11月25日（火）までに
JACET ホームページ <http://www.jacet.org> 内リンクより事前参加登録し、参加費を当日受付でお支払いください。

参加費：

- 事前申し込みによる参加費（資料代等）は 1,000 円（学生 500 円）（参加費は当日徴収します）
- 事前申し込みをなさらなかつた方は、当日 2,000 円（学生も含む）の徴収となります。

お問い合わせ: JACET 事務局 (jacet@zb3.so-net.ne.jp)

JACET presents 2014 JACET SEMINAR

DATE: Saturday, December 6th, 2014

TIME: 10 am to 6 pm

VENUE: Aichi University (Nagoya Campus), 8th Floor
Lecture Building.

FEE:

1,000 yen for registered persons (500 yen for registered students)

(If not registered in advance, the fee is 2,000 yen.)

REGISTRATION: For details and registration, check
the JACET website: <http://www.jacet.org>

CONTACT: JACET Office jacet@zb3.so-net.ne.jp

■ 訃報 ■

一般会員の北尾謙治先生（同志社大学）が、2014 年 8 月にご逝去されました。

故人の学会へのご貢献と英語教育界への多大な寄与を偲びつつ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

■ 事務局便り ■

支部会員向けの各種案内の配達やメーリング・リストによる情報の配信に使用いたしますので、会員情報（住所、メールアドレス、所属、電話番号など）が変わられた方は、必ずご連絡ください。

事務局からのご連絡のメールが、宛先不明等で数多く戻って参ります。今一度、JACET へお届けになっているメールアドレスをご確認ください。

――・――・――・――・――
紀要、講演会案内フライヤー、ニュースレターなどのお届けに支障が生じるおそれがございますので、ご所属先や郵送先住所情報についても、今一度ご確認ください。

なお、関西支部では名簿の作成・管理は行っておりません。ご異動等のご連絡は、本部事務局 (jacet@zb3.so-net.ne.jp) までお願ひいたします。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone numbers or other personal information to **JACET headquarters** (jacet@zb3.so-net.ne.jp).